

広報 五戸

2005年 / 3月号 / Vol. 549

- ごみのない きれいなまちづくり -

なし
ごみ 0 運動

4月16日(土) 6:30 ~



別れ際は笑顔で…

~ 倉石中学校卒業証書授与式 ~

住民の声をまちづくりに 町長と地域住民との懇話会

2月7日から10日までの4日間、町内7会場で地域づくりを語る「町長と地域住民との懇話会」が開催されました。

町からは三浦正名町長はじめ、両助役・教育長・各課長らが出席し、住民と直接対話をしました。住民側からは、合併まちづくり計画や行財政改革への質問、道路・公共施設整備の要望などが出されました。

今回出された主な提言・要望等を紹介します。



住民の皆さんからさまざまな提言をいただきました

- ・ 歩道用地の拡幅について、民地側にはなく道路側に広げてはどうか。
- ・ 町主催の会合は、日曜日に行ってほしい。また、会合後の懇親会はやめた方がよいのではないか。
- ・ ごみの不法投棄に対して広域的に対応できないか。
- ・ 役場庁舎の清掃は職員で行ってはどうか。
- ・ 倉石地域振興公社（夢の森ハイランド）は現在、町のみが株主となっているが、一般町民からも出資を募ってはどうか。
- ・ 旧倉石村時代、小渡平公園の野球場（現在は駐車場になっている）に代わる倉石中学校野球場の整備計画があったが、新町でも引き続き計画を進めてほしい。
- ・ 細い道の除雪について、一般住民のトラクターを活用してはどうか。
- ・ 学校給食の材料に地元産品を使ってほしい。

健康づくりは 毎日の生活習慣から 五戸町健康づくり大会



骨密度測定コーナー

2月20日、町立公民館でこれからの健康づくりを考える平成16年度五戸町健康づくり大会が開催されました。この日は五戸長栄会（三浦

マサ子会長）による食生活改善コーナーや骨密度測定コーナーなどが設けられ、来場者は毎日の食事による骨粗しょう症の予防など熱心に耳を傾けていました。また、大ホールでは「簡単には死ねない私たち」と題して五戸総合病院の蝦名宣男院長が講演。脳卒中、心筋梗塞、がんの三大死因について解説し、早期発見のために検診を受けようと呼び掛けました。



栄養満点「あすか汁」を試食

ぬくもりとやすらぎを 実感できるまちを目指して 五戸町社会福祉大会



「人の和 福祉の輪でつくる 明るい町五戸」をスローガンに第29回五戸町社会福祉大会が2月17日、町立公民館で開催されました。同大会は五戸町社会福祉協議会（鳥谷部志郎会長）が主催し、民生委員・児童委員、各種ボランティア団体など関係者約370人が参加。社会福祉に貢献した6個人に表彰状や感謝状が贈られました。式典終了後、活動事例発表が行われました。又重小学校5年の小笠原寛子さんは、同校で行われている祖父母交流会のことを取り上げ、初対面のお年寄りとお話できて嬉しかったことなどを発表しました。



ボランティア活動の事例発表をする小笠原寛子さん（又重小）

環境にやさしく、清潔な暮らしを・・・

倉石地区農業集落排水事業

26年越しでついに完工



着工当時を振り返る中田元倉石村長

「無い無いづくしのこの村に都会に匹敵する事業があってもいいのでは」と決断した経緯を語り、「日常の生活に関わることである本事業が完工できたのは誠にうれしい。」とあいさつしました。

倉石地区農業集落排水事業がこのほど完工し、2月15日、倉石コミュニティセンターで記念式典が行われました。旧倉石村では、昭和54年に農村総合整備モデル事業の一環として中市・浦田地区で農業集落排水処理施設の整備に着手したのを皮切りに、平成5年から石沢地区、平成8年から又重地区、そして平成14年からは倉石東部地区と着実に事業を推し進めてきました。



倉石コミュニティセンターで行われた完工記念式典

26年間にわたり総事業費43億5千万円を投じて施設を整備した結果、倉石地区の92%の世帯で下水道の利用が可能になりました。

になりました。

式典では同事業に尽力した歴代倉石村長の中田喜美雄さんと上山幸吉さんに表彰状が贈呈されたほか、汚水処理場用地を提供した丸谷キクさんから7人に感謝状が贈られました。

中田元村長は、

大空に羽ばたけ!!

川村君ら6人に 木村秀政賞

このほど、平成16年度木村秀政賞の受賞者が決まり、五戸・川内・倉石各中学校および五戸高等学校の6人の生徒に贈られました。

当町の名誉町民・故木村秀政博士(元日本大学名誉教授)は、戦後初の国産旅客機YS11の誕生に貢献し、日本航空界に偉大な業績を残すとともに当町の教育振興発展に尽力しました。

同賞は、木村博士の遺志を永遠に生かそうと昭和62年に創立され、学業に優秀で模範的な生徒に贈られています。



大空への夢を追い求めた故木村秀政博士



山村 大志
(五戸高3年)



高山 学
(五戸高3年)



下村 若菜
(倉石中3年)



橘 翔太
(川内中3年)



田守 れい
(五戸中3年)



川村 研二
(五戸中3年)

受賞者(敬称略)

日本消防協会
最高栄誉章

「まとい」を受章

このほど、五戸町消防団が日本消防協会特別表彰「まとい」を受章しました。「まとい」は日本消防協会の表彰の中では最高位に位置し、全国の消防団の中で年間わずか10団体しか選ばれません。青森県内では南部町や八戸市、南郷村などに続いて5団体目となります。



三浦町長（前列中央）に「まとい」受章を報告する川崎団長（同右）

2月18日、受章の報告に三浦町長を訪れた川崎団長は「言葉にならないほどの喜び。先輩方の努力の積み重ねあつての受章であり、また、こういったときに団長を務めることができて本当に幸せ。表彰に恥じないようによりますます消防業務に精励します。」と喜びを語っていました。

第17分団に最新のポンプ車配備



第17分団に配備されたポンプ車

五戸町消防団第17分団（若林繁美分団長）にこのほど、新たに小型動力ポンプ付積載車が配備されました。3月20日に石吞生活館で行われた入魂式には、分団員や消防・自治会関係者らが出席。三浦町長や川崎団長、若林分団長らが玉ぐしをささげ、消防活動中の安全を祈願しました。この後、分団員たちは真新しいポンプを操作し、感触を確かめていました。

春の火災予防運動

4月11日(月)～4月17日(日)

統一標語

「火は消した？ いつも心に きいてみて」

火災のほとんどは“チョット”した不注意から発生しています。住民一人ひとりが防火に関心を持ち、火災のない町にしましょう。

火災・救急・救助は 119 (局番なし)

緊急通報ファックス 22-0119

火災情報 22-2111 (テレホンガイド)

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- 3つの習慣・4つの対策 -

3つの習慣

寝たばこは絶対やめる。
ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

機敏な行動と団結力を披露

五戸町消防団 初午



堂々の行進を披露する団員

この日、早朝6時30分から行われた火災防備訓練では、「倉石中市地区の県指定文化財・旧圓子家住宅付近から出火し、さらに西寄りの強風にあおられ付近の住宅に延焼の危険がある」という想定により消火訓練を行いました。団員らは消防署の無線司令で出勤、的確な命令の伝達、機敏な中継送水など見事な連携プレーで訓練を遂行しました。

引き続き団員らは栄町通り

五戸町消防団（川崎七保団長）の初午行事が3月6日に行われ、女性団員8人を含む団員550人と消防車29台が出動し、堂々の分列行進や勇壮なまとい振りなどを披露しました。



倉石地区に伝わる勇壮なまとい振り

に整列。のろしの合図とラッパ隊の演奏で観閲式が始まり、観閲官の三浦正名町長に統制の取れた機械器具点検などを披露。その後、式典会場である五戸小学校まで分列行進を行い、士気の高さを示しました。

式典では、退団者らに対する勤続功労表彰、功労者への感謝状の贈呈が行われました。この後、中村政勝五戸消防署長が全体の講評、三浦町長が訓示を述べ、日ごろの労をねぎらいました。被表彰者は次のとおりです。（敬称略）

消防団活動に対する感謝状

しんせい五戸農業協同組合
三八地方森林組合

一般火災協力者感謝状

藤村 次雄 石渡 一雄

永年勤続退団者感謝状

勤続30年以上

赤坂 周一 大澤 公彌
若林 春雄 鈴木 政司

勤続25年以上

本田 茂 巴 俊悦



中市地区で行われた消火訓練

勤続20年以上

鈴木 啓悦 工藤 喜男
田代 睦雄 種市 唯良
類家 力 豊川 政志

分団競技会表彰

最優秀分団

第7分団 第12分団
第18分団 倉石3分団

優秀分団

第4分団 上市川分団

第24分団

優良分団

第1分団 第15分団
第20分団 倉石4分団

ラッパ隊功労者表彰

高谷 薫 木村 寿徳
木村 佳正

浄化槽の設置に補助金交付制度

川・湖沼・海などが汚れているのは、私たちの日常生活から排出される生活排水が大きな原因になっています。さらに生活排水のうち、し尿を除いた台所・風呂・洗濯などから出される生活雑排水は、生活排水全体の汚濁負荷の約70%を占めるといわれています。

町では、生活排水対策に積極的に参加していただくため、浄化槽の設置費用に補助金を交付します。

制度の概要

1. 建物の用途 一般住宅（新築・増改築含む）
2. 対象の地区 公共下水道・農業集落排水処理の事業認可区域以外の区域
3. 補助金額

補助金の額は、浄化槽の設置に要する費用とし、右表に定める額を上限とします。

延べ面積	人槽区分	補助金額
130 m ² 未満	5人槽相当	186,000円
130 m ² 以上	7人槽相当	219,000円
台所および浴室が2か所以上(2世帯)	10人槽相当	276,000円

4. 手続方法

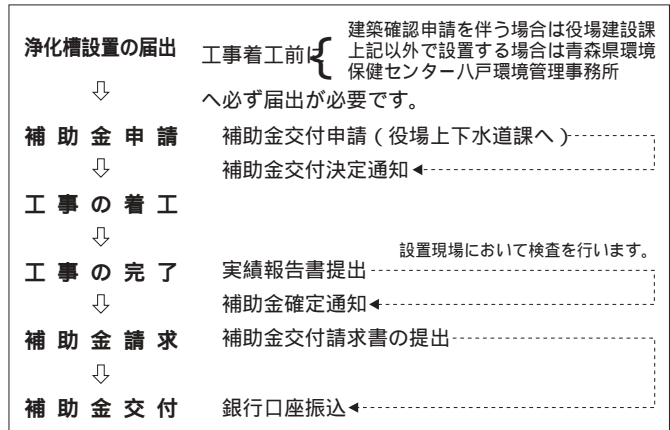
補助金の交付を受けるための手続きは、右のとおりです。手続きに不備や違反があると、補助金の交付を受けられませんので、十分注意してください。

なお、手続きは浄化槽工事業者（青森県知事登録業者）が代行してくれますのでご相談ください。

5. 申請の受付

平成17年4月1日（金）～

補助金の交付基数には限りがありますので、設置を希望する方は、早めに役場上下水道課へ問い合わせください。 62-2111内線453・455



文芸ごころ

俳句

寒風や鳥合の豪並木舞ふ

佐々木はるの（上市中區）

川柳

つららなり音立てやしの春如し

小林 静枝（市津堂）

短歌

雪道をわれのりハビリと通いつめ

藤村 ナヲ（鍛冶屋窪）

病む夫の春を信じて九ヶ月

類家 清美（菖蒲川）

犯罪の日々のニュースや田舎にも

類家 清美（菖蒲川）

どこへ消えたか人間教育

類家 清美（菖蒲川）

軒下で立春を告げる福寿草

橋 ミネ子（北市川）

ぼこぼこ芽を出し咲く花を待ち

橋 ミネ子（北市川）

春彼岸中日宿のにぎやかに

田代十志男（上市川）

念佛終えてカラオケ大会

田代十志男（上市川）

学び舎を巣立った子らよおめでとう

高嶋 春松（野月）

さあふみだそうつぎなる目標へ

高嶋 春松（野月）

見ゆるもの白く輝き花めぶき

原 はつゑ（上市川）

日ごとにつばみクロカス咲きし

原 はつゑ（上市川）

愛らしき子の手は母をまさぐりて

原 はつゑ（上市川）

残雪舞う広報の窓

匿名

この歌は広報五戸2月号の表紙に対していただきました。

テレビにて菜の花祭りさわやかに

高谷 トヨ（上大町）

われ住む町に大雪おそう

高谷 トヨ（上大町）

皆さんの作品を「文芸ごころ」に発表してみませんか。

川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。

お待ちしております。



五戸総合病院

地域総合医療の拠点に



内科に田口先生をお迎えします

五戸総合病院では、診療体制・診療内容の充実を図るため、4月1日付けで田口順先生をお迎えすることになりました。田口先生には、内科に所属していただきますが、どの科で診てもらったらよいのか、わからない方の診療など、総合診療も担当していただきます。



内科科長
田口 順
たぐち じゅん

- ・医学博士
- ・日本外科学会認定医
- ・日本救急医学会認定医
- ・救急科専門医
- ・岡山県出身
- ・昭和35年5月12日生(44歳)
- ・昭和54年3月岡山県立岡山大安寺高校卒業
- ・昭和60年3月防衛医科大学校(医学科)卒業
- ・昭和60年3月海上自衛隊入隊
- ・昭和60年5月医師免許取得

- ・昭和60年6月初任実務研修：防衛医科大学校および自衛隊中央病院(麻醉科、外科、内科、放射線科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、整形外科)
- ・平成元年8月医官専門研修：防衛医科大学校外科学第一講座
- ・自衛隊江田島病院兼呉衛生隊、自衛隊大湊病院などで診療に従事
- ・平成13年8月八戸航空衛生隊長兼第2航空群司令部幕僚
- ・平成14年8月大湊衛生隊長兼大湊地方総監部衛生監理官兼自衛隊大湊病院

●五戸総合病院医師一覧表(4月)

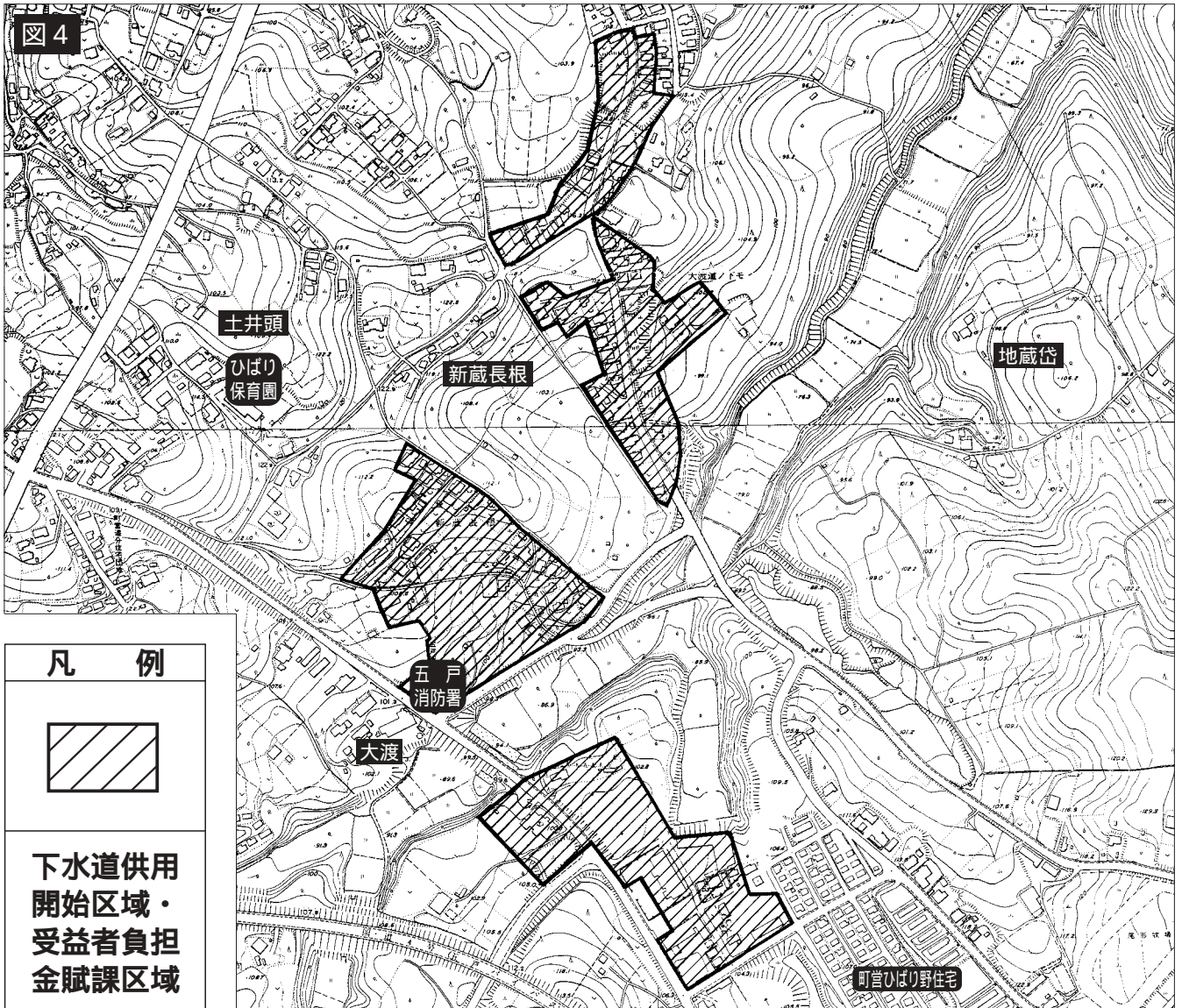
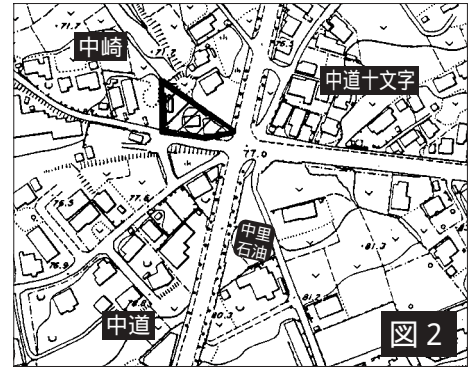
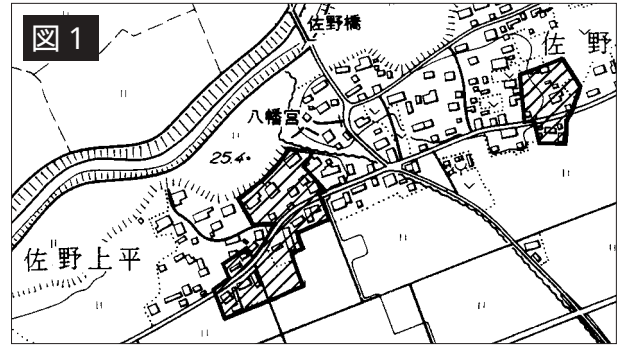
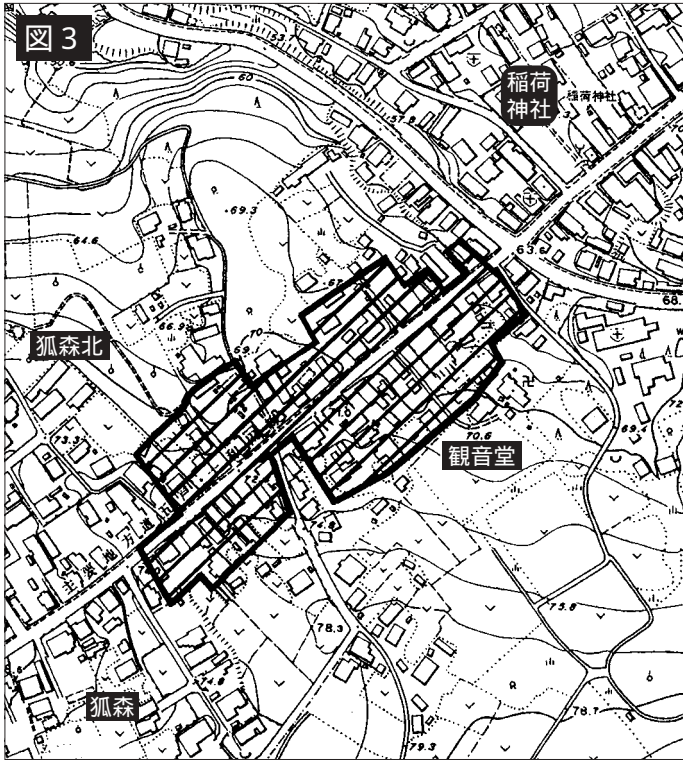
診療科	職名		医師名		備考
	科長	副科長	科長	副科長	
内科	科長	副科長	田口 順	矢田部 宏一	(総合診療担当)
	科長	副科長	愛川 俊信	對馬 清人	
(循環器)	非常勤		東山 明弘		水曜日の午後
	非常勤		三浦 昌人		木曜日
(糖尿病)	非常勤		大根田 昭		第1・3火曜日
	院長		蝦名 宣男		
外科	副院長		渡部 秀一		(科長)
	副院長		原田 昭彦		
産婦人科	非常勤		田中 直樹		
	副院長		井戸川 敏彦		
小児科	科長		笹野 拓也		
	非常勤		(弘前大学)		第2・4金曜日
整形外科	科長		三上 靖隆		
	非常勤		(弘前大学)		金曜日・土曜日
脳神経外科	科長		深瀬 栄一		(医療技術局長)
	非常勤		小林 貴樹		火・水曜日
眼科	非常勤		袴田 真理子		火曜日
	非常勤		佐々木 亮		水曜日
耳鼻科	非常勤		袴田 真理子		木曜日
	非常勤		高畑 淳子		金曜日
皮膚科	非常勤		(東北大学)		木曜日

曜日ごとの外来診療にあたる医師名は、各科外来受付に表示してあります。都合により変更になることがあります。


2月の診療科別患者数

区分	診療科	内科	外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	整形外科	脳外科	皮膚科	計
		外来	4,125 (4,155)	594 (638)	518 (470)	930 (1,020)	414 (138)	783 (671)	1,766 (1,958)	658 (651)	171 (213)
入院	3,105 (2,992)	522 (659)	240 (242)	13 (40)	45 (0)	0 (0)	503 (988)	602 (664)	0 (0)	5,030 (5,585)	
4月からの延患者数	外来	47,457 (50,138)	7,474 (7,983)	5,775 (6,099)	11,376 (12,091)	3,259 (1,509)	7,403 (7,307)	21,720 (22,632)	7,750 (7,407)	2,423 (2,836)	114,637 (118,002)
	入院	34,488 (32,818)	5,543 (7,383)	2,050 (2,771)	336 (422)	366 (0)	0 (0)	6,760 (7,076)	6,511 (7,257)	0 (0)	56,054 (57,727)

入院 = 毎日24時現在の在院患者延数 + 毎日の退院者数 () = 昨年度同期



凡 例



下水道供用
開始区域・
受益者負担
金賦課区域

五戸町公共下水道事業

「供用開始・受益者負担金賦課区域」を拡大します

五戸町公共下水道事業は、平成7年度に工事に着手以来、平成16年度末までに約102ヘクタールが整備され、このうち平成16年度で整備された約16ヘクタールについて、この4月1日から下水道の供用が開始となります。

町では、公共下水道の「供用開始区域および受益者負担金賦課区域」を決定しましたので、概要をお知らせします。

公共下水道の供用開始区域および受益者負担金の賦課区域

- ・五戸町字佐野上谷地、大字切谷内字佐野上平、字佐野前谷地、字佐野、字淋代(図1参照)
 - ・五戸町字中崎(図2参照)
 - ・五戸町字狐森、字狐森北、字観音堂(図3参照)
 - ・五戸町字正場沢、字大渡道ノ下モ、字新蔵長根、字大渡、字下長下夕(図4参照)
- 対象区域図は次ページのとおりです。

下水道事業受益者負担金賦課区域内の土地の所有者や権利者には、下水道の受益者と

して負担金が賦課されます。受益者の申告は、町から送付される「下水道事業受益者申告書」により行います。町ではこの申告に基づき、受益者負担金の対象となる地積や受益者の確定などを行います。

また、供用開始区域内の家庭・事業所などでは、台所や浴室、洗濯などの汚水を直接公共下水道へ流すための排水設備を1年以内に設置していただきます。さらに、トイレは3年以内に公共下水道に接続していただきます。この排水設備工事は町が指定した「指定工事店」でなければ施工できませんので、下記の指定工事店一覧表を参考に申し込みしてください。

『下水道は、町民の健康で快適な生活環境の確保と公共用水域の保全など、生活環境の整備を図るうえで必要不可欠な施設です。今後とも、下水道事業の推進に町民の皆さんの深いご理解とご協力を願います。』

問い合わせ先

役場上下水道課

62 2111 内線 455

五戸町下水道排水設備指定工事店一覧表

五戸地区		八戸地区		その他の地区	
業者名	電話番号	業者名	電話番号	業者名	電話番号
(株)大久保建設	62-5076	(株)葵工業	52-2688	青水工業(株)十和田営業所	0176-23-3290
オータ	62-5033	青葉水道サービス(有)	43-4726	青森県南清掃(株)	0176-23-4351
(株)大西組	62-2261	(有)赤坂システム	27-4255	石亀燃料(株)	0179-22-2218
(株)大西工務店	62-3454	アクア設備(株)	72-1500	(有)漆戸工務店	78-3133
(株)大山建工	68-3353	(株)朝日設備	28-9275	(株)上坂水道工業	0176-23-1205
(有)カネタケ	62-5225	(有)栗原水道設備工業所	70-2728	(有)県南設備工業	0176-22-6204
川崎建設(株)	68-2346	(株)三久工業	27-6333	小坂建設工業(株)	78-3322
(株)川村土木	62-2543	(有)三貞 八戸支店	23-5023	桜田設備工業(株)	0176-23-3889
(有)北組	62-2066	(有)城下住設	46-0150	(有)三共設備工業	0176-56-5307
(有)小泉商会	67-2222	(有)信和住設	46-1626	(有)サンセツ工業	0179-22-3141
佐々木建設(有)	68-2289	(有)平商会 八戸支店	30-1092	白浜水道(株)	0176-23-7164
(株)沢田建設	68-3111	匠住設	73-8535	(有)田中水道工業所	0176-53-5953
(有)サンコー設備工業	62-2240	東復建設(株)	43-2353	東北水道設備工業(株)	017-728-2001
(株)東北産業	61-1100	(有)豊水興業	44-6954	十和田水道設備(株)	0176-23-0002
鳥金商店	62-2171	中水設備工業(有)	96-5414	(有)日研設備	0176-55-4752
(株)新井山建設	68-3000	西浦水道建設工業(株)	22-5167	フロンティア設備	52-3236
(有)日興防水	62-3071	(有)日建設備	45-8889	(有)北桜水道建設	82-2106
(有)野村組	61-0282	(有)八戸水洗サービス	43-5155	(株)松本工務店	76-2623
村越住設	62-4498	(有)八戸水道工業所	44-6065	(株)三浦設備工業	0176-23-5398
ルイケ	68-2334	(有)日計設備	31-2880	(株)宮本農機	75-1024
(有)類家建設	68-2231	(株)ホームクリエ	41-2382	(株)村下建設工業	78-3311
		(株)壬生設備	45-3621	山樹産業(株)	017-777-9333
		(株)若本設備工業	96-4881	(有)吉田設備	0176-55-2516

情報ステーション



このへ
大空に夢をはこぶ町

土地・家屋価格等の縦覧について

平成17年度土地価格等縦覧帳簿および家屋価格等縦覧帳簿の縦覧期間は次のとおりです。

期間

平成17年4月1日(金)から
5月31日(火)まで
(土・日・祝日除く)

時間

午前8時30分から
午後4時30分まで

場所

役場税務課

縦覧できる方

納税義務者
納税管理者
代理人(委任状が必要)
持参するもの

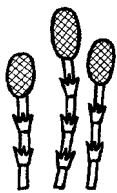
・の方は印鑑

問い合わせ先

役場税務課

62 2111

内線126・127



国家公務員採用試験

国家公務員 種

受験資格

・昭和47年4月2日から昭和59年4月1日生まれの者
・昭和59年4月2日以降生まれの大学卒業業者(平成18年3月までに卒業見込みの者を含む)および人事院がこれと同等の資格があると認める者

受付期間

平成17年4月1日(金)から
平成17年4月8日(金)まで
第1次試験日
平成17年5月1日(日)

国家公務員 種

受験資格

・昭和51年4月2日から昭和59年4月1日生まれの者
・昭和59年4月2日以降生まれの大学・短大・高専卒業業者(平成18年3月までに卒業見込みの者を含む)および人事院がこれらと同等の資格があると認める者

受付期間

平成17年4月13日(水)から
平成17年4月22日(金)まで
第1次試験日

平成17年6月19日(日)

問い合わせ先

人事院東北事務局 第二課
022 221 2022

人事院ホームページ

<http://www.jinji.go.jp/>

事業主の皆様へ 労働保険の申告・ 納付はお済みですか

平成16年度確定保険料・平成17年度概算保険料の申告の時期となりました。保険料申告書の提出および保険料の納付期限は5月20日です。早めに最寄りの金融機関、郵便局などで手続きしてください。

なお、申告・納付が同時にできないときは、黒刷りの申告書は最寄りの労働基準監督署または青森労働局へ、ふじ色刷りの申告書は青森労働局へそれぞれ提出し、納付についてご相談ください。

問い合わせ先

青森労働局労働保険徴収室
017 734 4145

八戸高専公開講座 受講生募集

地域企業の技術者や専門的技術を身に付けようとする一般社会人を対象に、機械図面の作成を通じてCADの基本的な操作方法とその利便性を紹介します。

講座名

CAD入門(基本編)

期間

平成17年5月9日(月)から
平成17年5月13日(金)まで

時間

午後6時30分から8時30分まで

場所

八戸工業高等専門学校
機械工学科

対象

一般の方(高校生以上)

募集人員

先着25人

受講料

6,200円

申し込み期間

平成17年4月18日(月)から
平成17年5月2日(月)まで

問い合わせ・申し込み先

八戸工業高等専門学校
庶務課 田頭

- 国民年金からのお知らせ -

4月から30歳未満の方を対象として

若年者納付猶予制度 が新設されます

これまでは、所得の少ない30歳未満の方が所得の多い世帯主と同居していることで、免除に該当しない場合があります。

30歳未満の方の年金受給権を確保するために、同居している世帯主の所得と関係なく、本人および配偶者の前年の所得が基準額（全額免除基準）以下であれば、国民年金保険料の納付が猶予される制度が新設されます。

承認されると・・・

- ・納付猶予期間中に障害、死亡などの不慮の事故にあった場合は、一定の要件を満たせば障害基礎年金、遺族基礎年金を受給することができます。
 - ・将来、老齢基礎年金を受給するために必要な期間として扱われます。
 - ・納付猶予期間から10年以内であれば、さかのぼって納めることができます。
- 将来、受給する老齢基礎年金の年金額を増やしたい方は、ぜひ追納をご利用ください。
ただし、2年を過ぎた保険料には、加算金が上乗せされます。

問い合わせ先 役場住民課 62-2111 内線116～118

五戸町次世代育成支援行動計画

「安心して楽しい子育てができるまちをめざして」

五戸町では、子育てをしている家庭や次世代を担う子どもの成長を支援し、安心して子どもを生み育てる環境を整備するため、今後10年間の計画を策定しました。

《主な事業の取組み》

保育事業の充実

- ・延長保育の時間延長と受入れ施設の拡充
- ・休日保育の実施
- ・一時保育の定員の増加と受入れ施設の拡充
- ・公立保育所の民営化など

これは、小学生までの児童をもつ保護者および中学生・高校生を対象に実施した子育て等に関するアンケート調査の結果を基に、特に利用ニーズの高かった事業の需要に対応できるよう受入れ体制の充実を図っていくものです。

この計画書は、次の施設等に備え付けていますので、どうぞご覧ください。

役場福祉課	町立公民館	町内私立保育園
川内支所	町図書館	私立幼稚園
浅田支所	町立保育所	
倉石支所		

問い合わせ先 役場福祉課 62-2111 内線252

4・5月の 行事予定

町民センターと合わせてご利用ください。
行事についての問い合わせ
TEL62 2111 五戸町役場

- 4月3日(日) 上級救命講習会
ひばり野スポーツ交流センター
- 4月16日(土) ^{なし}ごみ0運動
6:30~ 全町内
- 4月22日(金) 五戸町教育大会
14:15~ 町立公民館
- 4月29日(金) えほん工房
14:00~ 町図書館
- 4月30日(土) 代官坂のおとぎ会
14:00~ 町図書館
- 5月1日(日) 五戸地区消防団連合観閲式
- 5月7日(土) おもしろ科学教室
13:30~ 町図書館
- 4月23日(土)~5月12日(木)
こどもの読書週間

4月の 献血

健康なあなたと
私にできること

- 11日(月)
9:30~11:30 しんせい五戸本店
13:00~14:30 東北山田車体工業㈱
15:00~16:00 東北三吉工業㈱

4月の 相談

相談は無料です

- 12日(火) 人権特設相談
13:30~16:00 社会福祉センター
毎週木曜日
みんなの保健室(健康相談)
13:00~15:00 役場保健衛生課
交通事故移動相談
日程は相談者と調整
017-734-9235

五戸町交通安全対策協議会 五戸警察署

春の全国交通安全運動

4月6日(水)~4月15日(金)

運動の重点

1. 子供と高齢者の交通事故防止
2. 二輪車の安全利用の推進
3. シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
4. 自転車の安全利用の推進

県内の交通事故概況

(平成17年)

青森県交通対策協議会

	2月中	年累計	死者 の 状 態	飲酒運転に よる死者	2人 (+1)	
発 生	783件 (+86)	1,633件 (+163)		シート ベルト	高齢者の死者 ~65歳以上の人~	2人 (-4)
					自動車乗車 中の死者	7人 (+2)
死 者	6人 (+1)	11人 (-1)			非着用死者	3人 (-1)
傷 者	964人 (+103)	2,066人 (+203)		着用していれ ば助かったと 思われる人	1人 (-3)	

* ()内は前年比。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

毎月1日は県民交通安全の日

春季スポーツまつり行事予定

4/24日	アーチェリー大会	9:00~	ひばり野公園陸上競技場
4/29金	中学校ソフトテニス大会	8:30~	ひばり野公園テニスコート
	子どもサッカー大会	8:30~	ひばり野公園サッカー場
	卓球大会	8:30~	五戸中学校
4/30土	中学校野球大会	8:30~	ひばり野公園野球場
5/1日	ミニバスケットボール大会	8:30~	倉石スポーツセンター
	マラソン大会	8:30~	五戸小学校
	ゲートボール大会	9:30~	五戸ドーム
5/3火	中学校ソフトテニス大会	8:30~	ひばり野公園テニスコート
5/7土	中学校サッカー大会	9:00~	ひばり野公園サッカー場
5/8日			

タダで残業 していませんか？ させていませんか？

賃金不払い残業（いわゆるサービス残業）は、労働基準法違反です。サービス残業をしない、させない職場風土を作るために

経営トップ自らによる決意表明や、社内巡視などによる実態把握

労働者と使用者双方の合意による賃金不払い残業撲滅の宣言

企業内または労働組合内での教育

を実施しましょう。

問い合わせ先

青森労働局労働基準監督課
017 734 4112

おなか
コンセント周りも
常に掃除するよう
心がけましょう。



青森東北電気保安協会

成年後見人制度を ご存じですか

成年後見人制度は、記憶力などに障害がある高齢者、知的・精神障害者など判断能力が不十分となった方を保護するための制度です。家庭裁判所では、最も適任であると思われる方を成年後見人に選任します。本人の財産が高額である、親族の間で療養看護の方針が食い違っているなどの場合には、弁護士など第三者を成年後見人に選任することもあります。

成年後見人の仕事は、本人の意思を尊重しつつ、心身や生活の状態に配慮しながら、必要な代理行為を行い、本人の財産を適正に管理していくことです。具体的には

本人のために診療・介護・福祉サービスなどの利用契約を結ぶこと
本人の預貯金の出し入れや不動産の管理を行うこと
などがあります。

問い合わせ先

青森家庭裁判所

017 722 5351

NTT発行の電話帳 を配達・回収します

NTT東日本青森支店では、4月中に順次、新しい電話帳（平成17年5月発行）を各家庭・事業所へお届けします。その際、現在お使いの電話帳は、新しい電話帳とお取り替えますので、配達員へお渡しください。

NTTでは、地球環境保護として、回収した古電話帳を原料として新しい電話帳を再生する完全循環型の「電話帳循環型リサイクル」を行っています。

なお、配達員に古い電話帳を渡せなかった場合、後日改めて回収に伺いますので、左記「タウンページセンタ」までご連絡ください。お届けする電話帳の変更や配達冊数の変更につきましても、タウンページセンタまでご連絡ください。

問い合わせ先

タウンページセンタ

0120 506 309

（地域子ども教室推進事業）

「子どもの居場所づくり」に伴うサポーター募集！

～ 地域が一体となり、子どもたちを育てていこう～

子どもたちがのびのびと安心して過ごせる場を提供し、大人が地域や家庭での子育てを今一度考える機会とすることを目的に、町立公民館内に「子どもたちが楽しく集える場」を開設することになりました。（5月下旬に開設予定）

ここでは、子どもを中心に自由遊び・スポーツ・体験活動など、地域の人たちとふれあいを通して「心の居場所づくり」も視野に入れながら、さまざまな活動を展開していきます。

子どもたちの活動を見守り、お話やゲームの相手などをするボランティアサポーターを募集します。年齢や資格、経験の有無に関わらず、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしてくれる方々のたくさんの応募をお待ちしています。

申し込み方法 4月28日（木）（第一次〆切）までに、電話にて下記へお申し込みください。
サポーター事前研修会（説明会）については、申し込みをされた方に直接ご案内いたします。
サポーターは無報酬ですが、活動にかかる保険を当方で負担し加入いたします。

毎週水曜日、15:30～17:00まで開設。

参加無料（ただし、参加する子どもの保険料500円（初回）はいただきます）

詳しい事については、下記担当までお気軽にお電話ください。

【問い合わせ・申し込み先】 五戸町教育委員会 社会教育課内

元気ZZ サポートセンター

62-7965 担当：新井山



郷土探訪

「おらほの草相撲④

浅水田

「浅水」

宿場と八幡宮で栄えた浅水は、明治九年七月十一日の明治天皇御巡幸の道でもある。

明治から昭和にかけての力士といえば木村丑松、沼田仁太郎、北上長太、平野松太郎らが草相撲で名を残している。鈴木源兵衛（七太郎）の屋敷内に広場があつて、そこに土俵を作つて相撲大会を開いた。また、八幡宮境内には忠魂碑やお宮があつて年一回、奉納相撲が開かれていた。對抗相撲、三人抜き、五人抜きと夜遅くまで続くにぎわい。近年は電灯に変わったが、昔はガス灯の明かりが力士たちを照らした。しかし、夜店は全然なかった。

呼び出しは川村徳四郎、行司は草相撲の経験がある坂本石雄だった。男ぶりがよく、美声を張り、相撲甚句も歌つ

て観衆からヤンヤの拍手を受けた。

戦前は四ツ相撲が一般的で、今のように制限時間がないため仕切りが長く、「待った」は何回もあつた。その都度、両雄の体が朱に染まり武者震いする姿にお客は大喜びだった。

地方力士といわれたのは菊池市太郎、小沢健吉、宮力之助、太田稔、太田勝男（浅田川）、沼田忠（浅田山）らだった。この中には五戸の神明宮、西越の三嶽神社、倉石の新山神社、豊崎の七崎神社、四和の中渡八幡宮などにも出場したり、五戸伊達の里らと共に興行力士に変容した若者もいる。

浅水地方では大正、昭和にかけて大相撲に入幕した青年は一人もいないという。しかし、浅水の相撲通といわれた

元郵便局長沼田忠（明治四十五年五月二十二日生）は生前、「戦後、浅水に帰ってきたが、思えば旗屋五戸警察署次長が五戸に勤め、又重の新山神社例祭で私と取り組み、私が勝つたら坂本勝雄倉石村長が金一封の花を落とした。旗屋次長は大相撲に三日間入門して稽古したというつわものだったが、今まで二回私が勝っている。」と語っていた。



かつて奉納相撲が行われていた浅水八幡宮の広場

草相撲力士の名が古老の口から出てこない。（二十年くらい前、青森の方から「上方で相撲を取った若者があつたと聞くが、知りませんか」との問い合わせがあつた。）

昭和になって、古くから北手倉橋に住んでいた土族高山伊仲太の子孫の庭先で放楽相撲が開かれ、戸賀沢貞治（薬師山）らに参加してにぎわつたことがある。また、太田倉之丞宅の庭でも戸賀沢豊八、太田寛らが参加して開かれたこともある。

戦後には薬師様の屋根のふき替えを祝つて開催されたが、継続されなかった。

「廟田」

この土地には石ヶ森馬松、中川原昌一郎、権次らがいた。そして戦後は青年団対抗学童相撲へと変わり、八幡宮例祭に当たる九月十五、六日に放楽相撲が青年たちの手によって開かれたが、近年は姿を消している。

このほか、豊間内の熊野神

「手倉橋」

山間部にあるためか、藩政時代から明治初期にかけての

社や志戸岸の八幡宮でも放楽相撲はあつた。心に残る力士名をあげて欲しい、との声がかかれたが、忘れ去られて知ることができなかった。

五戸町文化財審議委員

三浦 榮一

あたたかい善意

スマトラ島救援金

町で受付した皆様からの救援金、総額48、623円を日本赤十字社青森県支部を通じて被災地に送金しました。ご協力ありがとうございました。

人材育成基金として

花美流稲扇会（赤坂イネ子代表）から10万円

町の人口

町の人口	
(前月対比)	
男	10,329人 (-14)
女	11,042人 (-3)
総人口	21,371人 (-17)
世帯数	6,884世帯(±0)
平成17年3月1日現在	